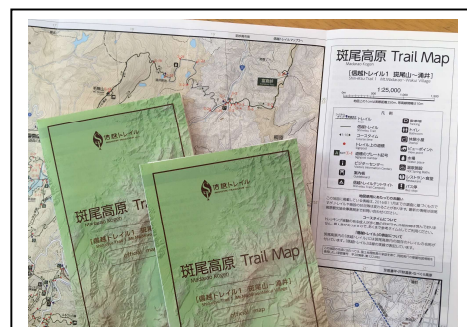


平28年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	誰でも楽しめるトレイルに！ 斑尾高原トレッキングトレイルユニバーサル化事業
事業主体 (連絡先)	斑尾高原観光協会 0269-64-3222
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大に関する事業 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,074,560 円 (うち支援金：1,536,000 円)

事業内容

- トレッキング情報のユニバーサル化
 - ・道標 (約 180 本) への英語 (ローマ字) 表記の追加
 - ・トレイルマップのリニューアル (一部ローマ字併記)
 - ・HP のリニューアル (グーグルストリートビューの活用)
- トレッキングトレイルのユニバーサル化
 - ・トレイルの急坂部分の解消
 - ・ヒッポ (アウトドア用車椅子) 導入の検討
 - ・MTB コースの設置および新設の検討
- 新幹線飯山駅を活かしたトレッキングプログラムの実施



【一部ローマ字併記したトレイルマップ】

【目標・ねらい】

- ① 年齢や国籍、ハンディ、そして趣向などに関わらずに誰でも気兼ねなく斑尾高原のトレイルと自然を楽しめるように。
- ② そのことにより観光客数と滞在人口を増やすこと。

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

- 近年増加している外国人ハイカーにも現在地や行き先までの距離等をより把握してもらいやすくなり、利便性の向上につながった。
- まるでその場を歩いているかのような画像を見ることができる「グーグルストリートビュー」によって、よりトレイルの魅力を伝えられるようになった。
- ペンション街からほど近い場所のトレイルを整備でき、いろんな方が利用しやすくなった。
- 歩くだけではないトレイルの活用方法を検討できた。
- 信州DCに向けて、駅を起点としたプログラムの検討ができた。

※自己評価【B】

【理由】

事業自体が年度後半に集中してしまい、多くの効果を期待するのは次年度以降からと思われるため。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- 新幹線駅を活かし、利用者がより参加しやすく魅力あるトレッキングプログラムを揃えて、観光客数と滞在人口をさらに増やしていく。
- トレッキングだけではないトレイルの楽しみ方を用意して、幅広いお客様を迎えられるようにしていく。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある